

しずくつうしん

FOR
KID'S



十二支のしんねんかい

じゅう に し

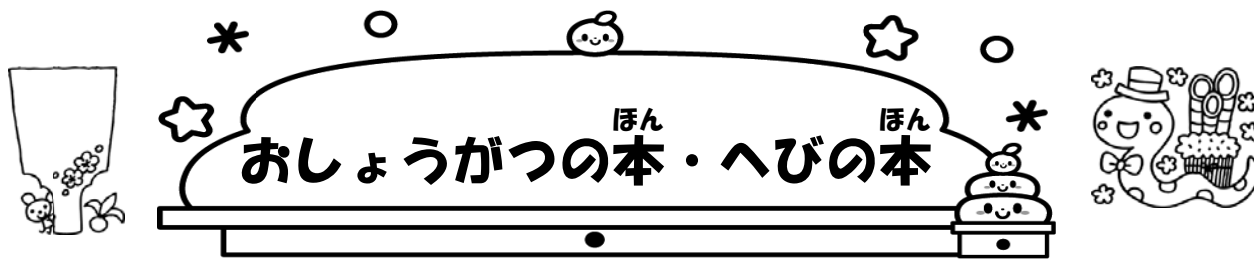


あけまして
おめでとう
お正月です

「十二支のしんねんかい」
みき つみき・文
柳原 良平・画 (こぐま社)

ことしもとしよかんをよろしくね!!
あたらしい^{ほん}本やたのしい^{ほん}本をたくさん^{ようい}用意して、
みんなが^{くる}来るのをまっています!!

じゅうにし
十二支たちがしんねんかいをしますよ。
でもその^{まえ}前にじゅんばんに自己^{じこ}しょうかいをしましょうね。
きみは なに^{としう}年生まれかな? じぶんの「干支」をさがしてみてね!



みなさんはどんなおしょうがつをすごしましたか？

としは「へび^{とし}年」です。ほんもののへびはちょっとにがて…な^{ひと}人もえほんのなかのへびなら「けっこうかわいいかも♡」ってすきになれるかもしれませんね。

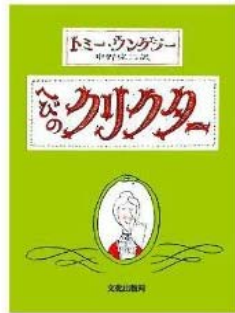
「へびのクリクター」

トミー・ウンゲラー作【えほん】（文化出版局）

ポドさんがおたんじょうのおいわいに
もらったのはなんとへび！

ポドさんはこのへびにクリクターと^{なまえ}名前
をつけてこどものようにかわいらします。

ある日、ポドさんの^{いえ}家にどろぼうが
はいりました。そこでクリクターは…。



「へびのしっぽ」

二宮由紀子作・荒井良二 絵【Fニ/よみもの】（草土文化）

へびのしっぽ はつまらない。

だれもおどろいてくれないし、いつもいちばんうしろだし。

たいくつになったへびのしっぽ はゆうきをだして、
みちですれちがうひとに「ともだちになってください」

って、こえをかけてみました。

でもなかなかうまくいきません。



「お正月^{しょうがつ}さんありがとう」

内田麟太郎作・山本孝絵【えほん】（岩崎書店）

なつからずっとびょうきでねているおじいちゃん
とらいねんもいっしょにれんげばたけにいきたい。

あやちゃんとおじいちゃんの^{みみ}耳におにのわらいごえ
がきこえました。「らいねんのことをいうとおにが
わらうんじゃ」とおじいちゃん。

そして、おしょうがつがやってきました…。



「わくわくお正月^{しょうがつ}とおもち」

奥村 彪生 作【596】（農文協）

おしょうがつといえば「おせち」と
「おぞうに」！！って人もいるかな！？
この本には「おせち」や「おぞうに」の
意味や^{いみ}地域によってどんなちがいが
あるのか…などくわしく^{ちいき}しょうかい
されています。

こどもの^{ほん}本の
コーナーで、
お正月^{しょうがつ}のえほん、
年支^{とし}のえほんを
展示^{てんし}しています。
こちらもみてね！



1がつのカレンダー

★図書館は10じ～6じまであいています★

にちようび	げつようび	かようび	すいようび	もくようび	きんようび	どようび
		1 としょかん 図書館は やす お休みです	2 としょかん 図書館は やす お休みです	3 としょかん 図書館は やす お休みです	4 資料点検日には、図書館を閉めてみんなが図書館を使いやすいように本を整理したり、ならべかえたりしています。	5
6	7 としょかん 図書館は やす お休みです	8	9	10 しりょうてんけんび 資料点検日(としょかん 図書館は やす お休みです)	11	12 11:00～ やまぼとの おはなし おはなし
13	14 しゅくじつかいかん 祝日開館	15 としょかん 図書館は やす お休みです ふりかえきゅうじつ (振替休日)	16	17 11:00～ ぐるんぱの えほん じかん 絵本の時間	18	19 11:00～ おはなし会
20	21 としょかん 図書館は やす お休みです	22	23	24 11:00～ ぐるんぱの えほん じかん 絵本の時間	25	26 11:00～ ゆめっこ劇場 「やまぼと」の かたり
27	28	29	30	31	<p>1月28日から2月4日は蔵書点検のため臨時休館します(※へんきゃくポストはつかえます)</p>	
	としょかん 図書館は やす お休みです	としょかん 図書館は やす お休みです	としょかん 図書館は やす お休みです	としょかん 図書館は やす お休みです		

マークの日は行事があります。
もうしこみ・お金はいりません。
* “おはなしのへや” です。

◎蔵書点検ってなあに？
※としょかんの本を1さつずつ機械で読みとって正しい場所にあるか調べたり、みんなが探しやすいように棚の場所を見直したりします。



1月の豆ちしき

◆初もうで◆

お正月になると、多くの人々が1年の無事と平安をいのるために、神社やお寺へお参りに行きます。もともとは、氏神さまをむかえるために、一家の主が大晦日の夜から翌朝まで神社にこもる「年ごもり」という行事でした。いまのような初もうでになった江戸時代中ごろには、恵方の寺社にお参りしましたが、いまは近所の寺社や有名な寺社などへお参りします。

氏神さまというのは、その地域をつかさどる神さまのことです。恵方は氏神さまがいるとされている方向です。



参照：「季節を知る・遊ぶ・感じる 1月のえほん」長谷川 康男 (請求記号386) ☆